

■ 特集 ■

一人ひとりの情熱と企業の理念をひとつの壮志に。

紀陽銀行 女子バスケットボールチーム Heart Beats 誕生

わが街 わが店 わが取り組み
支店活動レポート

会社概要

株式会社 紀陽ホールディングス

設立日 平成18年2月1日
 所在地 和歌山市本町1丁目35番地
 資本金 583億50百万円
 事業の内容 銀行等子会社の経営管理、
 ならびにそれらに付帯する業務

上場証券取引所 東証第一部
 ※平成23年4月3日、大阪証券取引所への上場は廃止いたしました。

株式会社 紀陽銀行

設立日 明治28年5月2日
 所在地 和歌山市本町1丁目35番地
 資本金 800億96百万円
 店舗数 107店（和歌山県68カ店、大阪府36カ店）
 （奈良県2カ店、東京都1カ店）
 従業員数 2,221名（出向者を除く）

※平成23年3月31日現在

紀陽フィナンシャルグループ



※平成23年6月30日現在

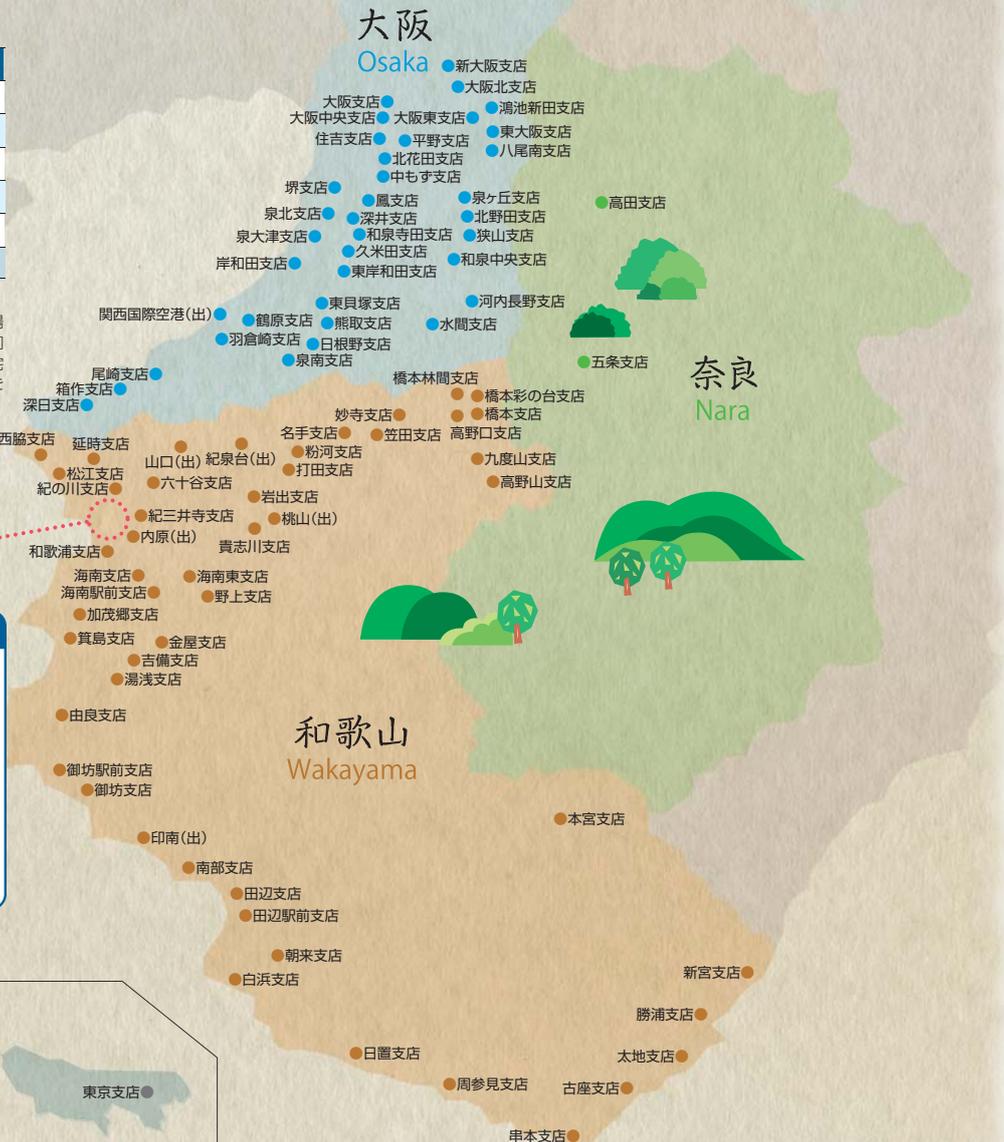
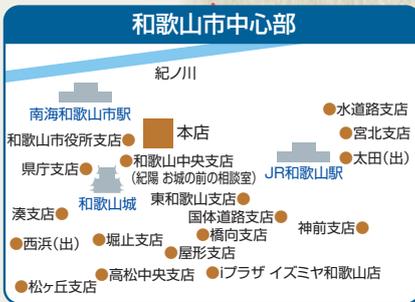
営業エリア

紀陽銀行店舗ネットワーク

	店舗数	店舗外ATM
和歌山県	68	117
大阪府	36	34
奈良県	2	1
東京都	1	—
三重県	—	1
合計	107	153

(インターネット支店含む)

※このほか、資産運用に関するコンサルティングデスク[紀陽お城の前の相談室]、インスタアブランチ「プラザ イズミヤ和歌山店」、外貨両替専門の「関西国際空港出張所」、住宅ローンセンター(9カ所)、ビジネスサポートセンター(本店内)を開設しております。



※平成23年3月31日現在

紀陽フィナンシャルグループの取り組み

地域金融機関として地域社会やそこに住む人々に、もっと貢献したい。

そしてそれは普段の業務の中で提供できるものはもちろん、通常の業務以外でも、きっとたくさんあるはずだと、私たち紀陽フィナンシャルグループは考えています。当社グループでは「お客さま」「地域社会」「株主さま」「従業員」に対して様々な活動を行っています。

地域の人々と関わり、地域の環境を豊かにするために地域金融機関としてどのような社会的責任を果たしていくかを定め、ひとつひとつの課題に取り組んでいます。

CSR活動の方針

取り組み課題

2011年の各種取り組み施策



紀陽 フィナンシャル グループ 行動憲章

1. 信頼の確保
2. 法令やルールの厳格な遵守
3. 質の高い金融サービスの提供
4. 社会とのコミュニケーションの推進
5. 従業員の人権の尊重等
6. 環境問題への取り組み
7. 社会貢献活動への取り組み
8. 反社会的勢力との対決

紀陽 フィナンシャル グループの誓い

お客さまへの誓い
株主への誓い
地域社会への誓い



P7~9

お客さまに やさしいサービスを 提供する

ご相談窓口の拡充

お城の前の相談室／ハートフルプラザ／年金相談会、資産運用セミナーの実施／資産運用アドバイザーの配置／住宅ローンセンターの体制強化 など

役立つ情報の発信

ハローサービスセンター／紀陽ビジネスクラブ など

地域ビジネスのサポート

公的支援活用の推進／海外進出支援／人材確保支援／事業承継支援／経営相談／販路拡大支援／産学連携の推進 など

お客さま満足の向上

〈キヨー〉ふれあい倶楽部／視覚障がい等の障がいのあるお客さまへの対応／CS向上施策(CS向上宣言・プラスひとこと運動) など

安心できる
お取引の推進

紀陽ONE da FULL カード／振り込み詐欺防止 など



P10~12

地域社会の 持続的発展を お手伝いする

地域密着型金融の推進

公的支援活用の推進や海外進出支援、経営相談など、地域企業に特化したサポート体制により、地域密着型金融の推進に取り組んでいます。

文化や芸術活動への貢献

紀陽文化財団 など

金融教育の実施

小学生向け金融セミナー／高専・大学での講義／インターンシップの受け入れ など

環境保全への取り組み

企業の森事業／環境保全業界団体への参画／環境に配慮した営業(店舗設計・エコ販促品の利用)／ESCO事業の推進／環境関連金融商品の取扱い／グリーンボンドの購入 など

地域貢献活動の推進

「大人大学」の開講／スポーツを通じたCSR活動／各種大会への協賛・地域行事への参加／「小さな親切」運動／AEDの設置 など



P13

株主さまに 信頼される経営を 実行する

経営における
透明性の確保

web、冊子等での情報開示の充実／各種IR説明会の実施 など

堅実な経営の継続

安定配当の実施 など

経営態勢の整備

コンプライアンスの遵守 など



P14

従業員が 働きやすい環境を 整備する

人材育成の強化

新入行員研修／階層別研修／職務別研修／OJTの取り組み強化／自己啓発サポート など

モチベーション
向上施策の実施

信託型従業員持株インセンティブ・プランの導入 など

働きやすい職場づくり

配偶者出産休暇制度／半日休暇制度／メンタルヘルスケア体制の強化／セクシャルハラスメントの排除 など



特集

一人ひとりの情熱と 企業の理念をひとつの 大志に。

個人的な思いと、企業の社会貢献が重なった瞬間

まっさらからのスタートと、バスケットへの恩返し。

2015年に開催される「紀の国わかやま国体」に向け、県内のスポーツ強化策を検討していた和歌山県と、バブルの崩壊やリーマンショック以降、企業がスポーツから撤退していく中で、民間企業として地元のスポート・文化振興に貢献したいと考えていた紀陽ホールディングス。両者の目指すところが一致したことで、紀陽ホールディングス女子バスケットボール部が誕生することとなりました。

「チームをつくるからには、参加するだけではなく優勝が狙える強いチームを作りたい」。高い志を実現するために、まずは指導者選びからはじめました。監督には小野利充氏を招聘。かつてトヨタ紡織サンシャインラビッツというチームをW1リーグ※昇格に導くなど強豪チームを作り上げ、全国に名の知れた監督でした。実績や手腕を買ったの抜擢である事はもちろんですが、理由はそれだけではありませんでした。



「和」 歌山で女子バスケットボールの監督をやらないか？。紀陽ホールディングスの方からそうしたお話をいただいたのは、私がちょうど定年を迎えようとする時期でした。そのころトヨタ紡織のチームはすでに実績や実力ともに高い水準まで来ていたし、そろそろ自分も後輩に道をゆずる潮時かなと考えていました。ちょうどそこへこの話をいただいたので、これは何かの縁なのではないかと思いました。それといま、企業がスポ



ーツへの協賛をとりやめたり部を廃止するなど、スポーツを取り巻く環境がきびしい中で、自分の力を借りたいと言ってくれる人がいるのなら、バスケットを通じて地域や社会に貢献し、自分を育ててくれたバスケットに恩返しすべきだと考えました。大学を卒業したばかりのひよっこばかりを集めて、まったくのいからチームを作りあげていく。自分自身、バスケットボール人生をいちからやり直すというか、自らのキャリアの集大成としてふさわしい仕事になるのでは、と考えました。



※W1リーグ=バスケットボール女子日本リーグ(Wリーグ)の2部リーグ



ゼロからの出発だから抱けた、とてつもなく大きな夢

和歌山をバスケット王国にするという夢。

じ つはもともと、前のチームの関係で和歌山には縁がありました。5年間くらいものあいだ、和歌山の子どものたちのためにバスケットボール教室をひらいていたのです。ですからこの監督就任もそういう流れで、自分の中ではつながつている気がしていました。ご承知のように、いまのところ山形や東京、愛知と言ったバスケット王国にくらべ、和歌山でバスケットのおかれている環境は決して優れているとはいえません。しかし、だからこそやりがいがあると思えました。自分としてはバスケットというカルチャーをこの地に定着させたい。この和歌山に根を下ろし、小学生から中学、高校、実業団と裾野を広げていきたい。そう考え、思い切ってお引き受けしました。12月に



MANAGER

小野利充 (おの としみつ)

1951年生。59歳。1980年4月、豊田紡織株式会社の女子バスケットボール部を創部以来、監督を務める。2004年、チームをW1リーグ昇格に導く。

紀陽ホールディングスのチームでは、近畿実業団で優勝し、来年の全日本実業団への出場権を獲得することが今年度の目標。来年以降、実業団リーグのトップレベルのチームへと育成する。2015年の和歌山国体では「優勝は当然の目標です」と語る。

はジュニアバスケットの指導も行います。国体優勝や実業団でトップクラスになるという直接的な目標へのチャレンジはもちろんです。が、こうした交流や活動を通じて、地域や社会への貢献も果たしていきたいと考えています。



ポジティブな言葉が、積極的なプレーを生みだす。

経験値の低さという弱点を、可能性という最大の武器に

指

導方針というようなものはとくにありませんが、すべてを前向きに考えるよう選手には話しています。そのために指導の際の自分自身の言葉遣いに気をつけています。たとえばふつうだと「走らなきゃ勝てないぞ!」というところを「もつと走れば勝てるぞ!」と言います。「あと4年間しかないからがんばれ」ではなく「4年間もあるんだから思い切りやれ!」と言うように心がけてます。意味は

まったく同じでも選手の捉え方はぜんぜん違うのではないかと思います。なにしろみんな新卒の1年生で若いチームですから、とにかくこれからの可能性を信じてなんでも積極的にやれと指導しています。それに加えて、実業団ですから当然、まじめに仕事をして社会人としても立派な人物でありなさいと普段から言っています。これができるいうちは選手としてもまだまだ半人前なのです。





企業と行政、選手と監督、チームと地域を固く結ぶ絆

脈打つHeart Beats、強さAmbitiousを胸に抱いて。

い ま選手たちといっしょに寮で暮らしていただきます。おかげでミーティングも即座にできるのでチームの意思疎通の面でもスムーズになっています。

寮の名前はサンビシヤスといって「太陽のSun」と「大志のAmbitious」を組み合わせた造語です。行員からのチーム名の公募で「Heart Beats」に続き2位だった名前を寮につけました。

じつはこの施設はチーム専用に使われるので、わざわざ用意していただいたのですが、こうした配慮はいまの経済情勢ではなかなか難しいことですので本当に感謝していますし、選手にも「これが当たり前ではないんだぞ」と伝えていきます。たしかに専用の練習場はまだありませんが、体育館を使わせてもらっていますし、他の実業団にくらべて練習環境が恵まれている



いは決して思いません。むしろこうした住環境が用意されていることはいまや本当に貴重なことですし、かならずやうした期待に応えたいと、選手とも気持ちをひとつにがんばっています。皆さん、ぜひとも試合の日にはわれわれ紀陽ハートビーツを応援しに会場へ足を運んでください。そしてバスケットボールを和歌山の人みんなで盛り上げていきましょう！

バスケットボール クリニック 近日開催!

紀陽ハートビーツでは、バスケットボールクリニック(ジュニアへのバスケットボール指導、子どもバスケットボール教室)を2011年12月に予定しています。



TEAM PROFILE



チーム名「ハートビーツ」の由来は、「心臓の鼓動」。地域の重要な役割という意味の「心臓」とテンポよくゲームを支配し勝利するという意味の「リズム感」からきています。チームカラーはKIYOブルーです。

PLAYERS

チーム全員が年齢も同じで、何でも言い合えることがハートビーツの特長。しかも「なあなあ」にはならず、単に仲がいいのではなく団結力のあるチームにしていこう、というのが彼女たちの信条だそうです。

①氏名 ②コートネーム ③ポジション ④配属店 ⑤抱負



①安川明穂 ②ユメ
③フォワード ④六十谷支店
⑤チームとしては国体での優勝はもちろんです。実業団でトップクラスになることです。国体は通過点としてやっていきたいです。個人の目標は主将としてしっかりチームをつくること。プレーヤーだけではなく、社会人としても一流になれるよう、がんばりたいです。



①広倉千夏 ②リク
③フォワード ④東和歌山支店
⑤いちばん得意なプレーはドライブ。ただ、どんなプレーであっても、見に来てくれた人にコートの中で「魅せる」ことができるプレーヤーになりたいです。



①三矢紗由季 ②ミユ
③フォワード ④本店営業部
⑤ディフェンスが弱いののでそこを克服したいです。1対1に強いのでセンターとして、そこを活かしたプレーをしたいです。



①青山詠美 ②ゴウ
③センター ④堀止支店
⑤チームでいちばん背が高いので、チームの柱になりたいと思っています。そのためには、もっとからだづくりが必要。ジャンプシュートが得意です。



①前川綾香 ②アム
③ガード ④堀止支店
⑤自分はゲームをつくるポジションなので、しっかりとゲームを動かせる選手になりたいです。身体が強いと言われていたので、そこをもっと活かしたいです。



①菅沼夏菜 ②セナ
③フォワード ④本店営業部
⑤バスケットだけではなく社会人として仕事もしっかりやりながら、良い結果を出していきたいです。得意なプレーは3ポイントシュートです。



①高橋咲 ②シン
③フォワード ④本店営業部
⑤いまケガをしているのでリハビリをしっかりしてはやくチームに戻ることを優先。リバウンドやルーズボールをきっちり取ることを心がけています。



①中川優 ②シュン
③ガード ④東和歌山支店
⑤身体は小さいですが、スピードには自信があるので、スピードを活かしたプレーでがんばりたいです。左利きなので左からドライブが得意です。



①武内綾乃 ②チイ
③ガード ④六十谷支店
⑤マネージャーもやっているのですが、プレーだけではなく、チームの雰囲気を考えながらプレーをしたいです。声を出すことなど基本をきちんとやっていきたいです。

わが街 わが店 わが取り組み

企業全体で取り組む大きな活動もちろん大切ですが、
街ごとの特性やお客さまのニーズにあわせた各支店の取り組みも、
地域のお客さまと密接に関わる地方銀行としてはとても重要です。
ここでは、お客さまとの関わりに創意工夫をしている支店の活動をご紹介します。



支店活動 レポート ①

にしはま 西浜出張所

**お客さまの待ち時間を
快適にするために
グリーンカーテンを
導入しました。**



お客さまがお待ちいただく店内の座席の背面が
ちよつど大きなウインドウになっており、夏には西
陽が強く、かなり暑くなります。そこでいわゆる「グ
リーンカーテン」をつくるつと、ゴーヤやひまわり、
朝顔などの植物を植え、自然のカーテンで西陽を遮
ることにしました。おかげで涼しくなっただけでは
なく、収穫した植物のタネやゴーヤを欲しいという
声もいただき、お客さまとの距離もさらに近づいた
と思います。

この取り組みは早くから準備を進めていたの
ですが、今年に入つて節電を求める社会的背景などが
重なり、とてもタイムリーな取り組みとなりました。
そのためお客さまからもたくさんのお問い合わせ
せやお声かけをいただいています。節電はエコの効
果もあるので、来年以降も継続して取り組んでいき
たいと考えています。

CSリーダーからひと言



井辺 宜之さん

西浜出張所ではほかにもすたれを飾り、そこに夏には
紙でつくった手づくりの朝顔、秋にはお月様を飾り、
またあわせて竹細工も飾り付けるな
ど、店内で季節感を楽しんでいただ
く工夫をしています。

わたしたちのCS宣言

明るく元気な笑顔で
お客さまに喜んでいただける
最適な商品を提案いたします。

CSリーダーからひと言



芝崎 綾美さん

お客さまのお誕生日に合わせて、職
員自らが手書きの一言コメントを添
えて、パーソナルカードを送っていま
す。こうした取り組みはお客さまに
とても喜んでいただいています。

わたしたちのCS宣言

- ㊟ 行員全員が
- ㊦ 感謝・笑顔・丁寧を
- ㊧ 忘れず対応します。

こかわ

粉河支店

**地元の方々の写真を
常設展示することで
気軽に足を運べる
支店をめざしています。**



ロビーの壁面を使って写真展を開催しています。
以前は地元の子どもたちが描いた絵やお客さまが
趣味でつくられたちぎり絵などを飾ってしまし
た。そうした活動が発展して、地元の方々が数多
く参加されている写真クラブ「紀ノ川フォトクラ
ブ」さまからのお声かけをいただき、写真展を開催
させていただいています。

ロビーでこうした展覧会を開催するのは、待ち
時間をすこしでも楽しく心地よいものにしたいた
いと思いと、近所の方や実際に写真を撮られた
方々、またそのお知り合いの方々などにも、気軽に
支店に立ち寄っていただけるようにとの考えから
でした。今後もご要望があれば、地域の方やお客
さまの作品などを展示していきたいと考えてい
ます。

かいなん

海南支店

**店頭ウィンドウでの
作品展示はお客さまとの
コミュニケーションにも
役立っています。**



町おこしイベントでウインドウに雛飾りをしたの
をきっかけに、絵画や写真など地域の皆さまの作品
を展示させていただいています。作品は定期的に入
れ替えを行っており、地域の方にもたいへん喜んで
いただいております。時には、展示させていただいた
作品の作者のお名前を見て、よくご来店いただい
ているお客さまだったことがわかり、後でその方と
会話が弾むなど、お客さまとのコミュニケーション
にもたいへん役立っています。

また、毎年11月に開催されている漆器まつりの
折には、職員総出で出店を出してお祭りを盛り上
げています。海南の人は明るくてみんなお祭りが
大好きなので、わたしたちも地域のお祭りやお店の
イベントを通じて、街の元気に貢献していきたいと
思います。

CSリーダーからひと言



上野 江里佳さん

お客さまに季節を感じていただくつと、店内に風鈴の
飾り付けをしました。店内は風がないので、風が通る
ようにしたり、じかに触つて鳴らせ
るようにしたりと様々な工夫をし
ました！

わたしたちのCS宣言

明るく元気な笑顔と
さわやかなあいさつで
お客さまをお迎えます!!



お客さまとの約束

個人のお客さま

ご相談窓口の拡充

地域のお客さまと直接対話することが、なにより大切な仕事だと考えています。

お客さまと直接お会いし、ご相談をお伺いするための窓口を、すこしでもたくさん持ちたい。そんな思いから、私たちは資産やご預金などに関する相談窓口をふやす取り組みを続けてきました。

たとえば「紀陽 お城の前の相談室」。年金や保険をはじめ投資信託や相続・遺言のご



相談まで幅広くお応えします。また個人のお客さま専用の店舗として「紀陽ハートフルプラザ」を、和歌山市内2カ店と橋本市内1カ店、さらには堺市や泉大津市など大阪府内にも設置。より広い地域で、より多くのお客さまの人生設計をサポートできるよう、ご相談窓口の拡充に、日々取り組みんでいます。



専門スタッフの配置

すぐれたスタッフによる地域に根ざしたきめ細やかな対応を心がけています。

お客さまからのご相談にすばやく適切にお応えしたい。そのために、私たち紀陽銀行では投資信託や一時払い終身保険など資産運用商品に関し、高度な専門知識を有するスタッフを各所に配置。各支店においては

「資産運用アドバイザー」が専用ブースにてお客さまの資産形成に関するご相談をじっくりと承るほか、本部では帯同訪問というかたちで支店担当者の営業活動をサポートする「営業店支援ファイナンシャルアドバイザー」と呼ばれる専門スタッフを配置するなど、お客さまのニーズに応じて、きめ細やかなコンサルティングを実践しています。

お客さまが喜ぶことが、私たちの喜びでもある。そんなあたりまえの思いを形にするために、私たち紀陽フィナンシャルグループでは、お客さまと対話しコミュニケーションを深めるいくつかの取り組みがあります。それは、「紀陽で良かった」と思っていたくためにはじめた、お客さま一人ひとりとの約束なのです。



顧客サービスの充実

年金をお受け取りいただいているお客さまの会員制度「ヘキヨーふれあい倶楽部」を設置しています。

年金はお年寄りにとつてのライフライン。こうした生活に密着したサービスを紀陽銀行でご利用いただいているお客さまには、やはり特別な気持ちでお応えしたい。「ヘキヨーふれあい倶楽部」は年金をお受け取りいただいているお客さま向けのサークル。和歌山県内全域と大阪府南部を中心とする加盟店で、会員さまだけの優待割引や著名人などの講演会・セミナーへの無料ご招待、名産品プレゼントなど、様々な会員特典をご用意しています。



サービス概要

- ♥優待割引サービス.....和歌山県内全域、大阪府南部を中心とする加盟店(平成23年3月現在912カ店)で、会員証をご提示いただくと、優待割引サービスが受けられます。
- ♥講演会・セミナー.....各地で、著名人・芸能人の講演会やセミナーに、抽選で無料ご招待いたします。
- ♥カルチャースクール.....各地で、陶芸などの人気の高いカルチャースクールに、抽選で無料ご招待いたします。
- ♥名産品プレゼント.....季節ごとのプレゼントや地方の名産品を抽選でプレゼントいたします。
- ♥お祝いの品をプレゼント.....喜寿、米寿のお誕生日にお祝いの品をプレゼントいたします。

法人・事業主のお客さま

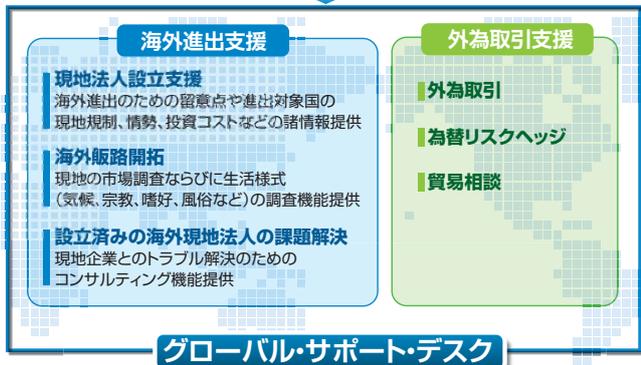
地域企業や

ビジネスのサポート

地元企業の経営をサポートすることで、地域経済の躍進につなげていきます。

地域の企業を支援し、地域経済を活性化させることも、紀陽フィナンシャルグループの大きく重要な使命であると考えています。平成23年2月にあらたに設置しました「グローバルサポートデスク」では海外進出を考える地元企業がスムーズにビジネスを展開できるよう、為替はもちろん外国の

海外進出を検討されている企業 外国為替取引のニーズのある企業



中小企業等への

情報提供と交流

地方から新しいビジネスを生み出し、雇用をつくりだすことも銀行の役目です。

和歌山・大阪には数多くの有望な中小企業や個人事業主が存在しています。こうした規模は小さくとも地元で活躍する企業をつなぎ、適宜有効な情報提供や情報交換が可能な場を提供することで、地元企業を盛り上げていきたい。そんな思いから私たちは「紀陽ビジネスクラブ」を設置し、会員企業さまに対し、著名人の後援会や経営実務に関する様々なセミナー、新入社員や営業担当者を対象にした合同研修などを実施しています。

こうした場の提供は地元企業の交流にもつながり、新しいビジネスチャンスやアイデア創出の場として活用いただいています。





CS向上に向けた 取り組み

CS向上とは、お客様の期待通りのサービスを提供した上で、さらに期待以上の感動を与え「顧客からファンへ」、より強固な関係をつくっていくための取り組みです。現場の行員はもとより役職員を含めたすべての職員が「お客様目線」で取り組むことで私たちは「お客様に選ばれ続ける銀行」になれるのだと考えています。



CSワッペン



CSポスター

この「CSポスター」や「CSワッペン」により、私たちの取り組みの見える化を積極的に進めていくことで、CS向上への意思の表明につながっていくとともに、お客様からの信頼を醸成する取り組みとして位置付けていきます。

CS意識の向上と定着

CS向上へ向けて、各店舗が独自に「私たちの宣言」を制定し、店頭のポスターで掲示しています。

CS向上に向けた全店共通の「CS向上宣言」を定めています。さらに、取り組みを具体化するために、それぞれの部署やお店独自で自分たちのCS向上宣言を決定。それらを社内ネット上で登録・集約しています。各支店ごとの宣言は、「私たちの宣言」として、店頭掲示ポスターに記載。

CSの全店一斉点検の実施

「CS向上チェックシート」を使って作業環境をチェックし、速やかな改善に役立てています。

CS向上に向けた取り組みが実際になされているのか、あるいは個々の取り組みは機能しているのか、部署やお店によって課題はないのかなどを逐一チェックする「CS向上チェックシート」を作成し、全部店に配布。一斉点検を行うことで、速やかな対策や改善策を導入実行しています。

お客様との接点の強化

接客時にひとこと添える「プラスひとこと運動」で心のこもったお客様対応を心がけています。

お客様に対応する際に、業務上で必要な会話や挨拶だけでなく、プラスひとこと声をかけることで、円滑なコミュニケーションにつながることを運動を実施しています。また「お客様の意見

カード」を各店舗に設置。お客様からのご意見やご要望を受け止めていく体制を整えています。ほかに「お客様待ち時間削減活動」や「あいあい傘」といった、お客様に喜んでいただける取り組みを実施しています。



お客様のご意見カード



ご意見箱

目の不自由な方にも安心してご利用いただけるよう、「点字通知サービス」の取扱いや受話器型音声案内装置のついたATMの設置を進めています。また、耳が不自由な方には、全店に耳マーク表示板とコミュニケーションボードを設置しています。今後も、お客様により便利にご利用いただけるような取り組みを行っていきます。



受話器型音声案内装置のついたATM



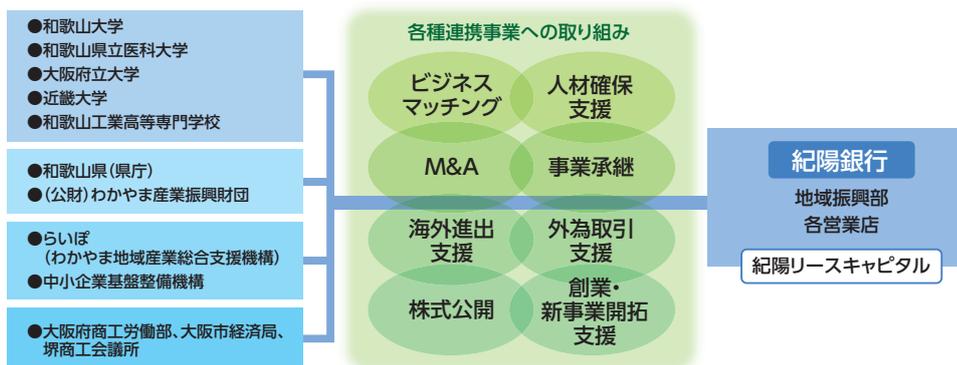
耳マーク表示板



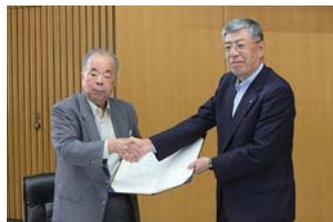
地域社会との約束

地域密着型金融推進 のための取り組み

当社グループでは、お取引先の経営課題解決に向けたお手伝いや成長支援、また地域のお客さまの利便性向上に向けた地域密着型金融の推進に取り組んでおります。また、独自のノウハウに加え、外部の専門家(弁護士、税理士、M&A専門業者等)や公的機関(国、府県、政府関連機関等)とのネットワーク活用により、地元企業の成長支援や経営課題解決に、強力に取り組む体制を構築しています。



公的支援活用説明会



連携協定調印式の様子

地元企業を活性化と
新事業開拓の支援
販路の拡大や産学連携などにより
地元企業の発展を
サポートしています。

地元企業を活性化することが、地方銀行グループの使命であると私たちは考えています。「堺ものづくり取引拡大商談会」「わかやま産品商談会」「和歌山」などにお取引先を誘致。企業の販路拡大支援に積極的に取り組んでいます。

また新事業開拓における公的支援の活用もバックアップ。「おおさか地域創造ファンド」

経営相談や
人材確保などの支援
企業支援を通じて
地域の持続的発展や
雇用創出に寄与しています。

その他にも様々な企業支援に取り組んでいます。たとえば学内企業説明会や合同説明会を開催。地元企業の人材確保と地元学生の就職支援を同時に行えるよう双方の声を聞いたマッチングを実施しています。さらにはM&Aを活用した事業継承をサポート。後継者難や事業の多角化への対応を後押しします。

私たちは地方銀行を核としたグループ会社です。地方銀行は地域社会と深く関わり、地域に密着したサービスを提供することが責務です。だから私たちは地域の方々へ独自の取り組みを展開してきました。それは「この街っていいな」と思える街づくりをお手伝いするための、地域社会との約束なのです。

などの公的支援施策の活用やその説明会の開催などを随時行っています。

さらに産学連携も重視。複数の大学等との間に「連携協力に関する協定」を結び、共同研究や技術相談、情報共有化によるマッチングなどを通じて、各支店のお取引先に寄与できるものと考えています。

文化・教育その他の 取り組み

紀陽文化財団

芸術教育をはじめ和歌山の文化振興をお手伝いしています。

地域の皆さまが、音楽や美術などの芸術にふれる機会を設け、文化的素養を育成する環境や、楽しい芸術鑑賞の場を提供したい。そんな思いから生まれたのが「財団法人紀陽文化財団」です。一流の演奏家によるクラシック音楽が楽しめる毎年恒例の「紀陽コンサート」のほか、和歌山県立近代美術館・博物館で開催される特別展などの展示会に無料でご招待しています。



「お金の学校」の開催

地域NPOと連携し、小学生向けの金融イベントも実施しています。

子どもたちから経済や金融への関心を深めてもらうことで、地域経済活性化につなげたい。紀陽銀行では、和歌山市内の中心市街地活性化を目的とした和歌山大学の学

環境保全のための 取り組み

環境に配慮した店舗づくり

エコな支店づくりを進めることで地域の環境保全に貢献しています。

環境保全に貢献し、地域の環境にマッチした店舗づくりをすすめることも企業の責任だと私たちは考えます。

そこで、田辺支店では内装に和歌山県産の檜を使い、照明にはLEDライトを採用。また屋上には太陽光パネルを設置するなど、省エネに配慮した店舗づくりを実現しました。

また、和歌山市にある事務センターでは、オフィスの空調設備を更改。年間128トンの温室効果ガス削減につながりました。



生有志によるNPO団体「わかやまミュージアムナカレシリアフター」の会が主催する「オーブンカフェWith」において小学生向け金融セミナー「お金の学校」を開催。お金の役割や銀行の仕事について楽しく学んでもらいました。



インターンシップの 受け入れ

今年度のインターンシップには10大学41名の学生が参加されました。

紀陽銀行では、産学連携による人材育成や地域貢献活動のひとつとして、学生に就業体験の機会を提供し、職業意識の醸成を図ることを目的に、インターンシップの受け入れを行っています。今年度は10大学41名の学生がインターンシップに参加。社会人としての基本的なマナーをはじめ銀行の基本的な業務に関する講義を受けた後、各営業店に分かれての実習にも参加されました。



地域の美化活動

「小さな親切」運動を展開しています。

地域の人々とともに、地域を美しくする様々な活動に参加しています。創立100周年を機に「紀陽銀行小さな親切の会」を発足。社団法人「小さな親切運動本部」に加入し、地域における清掃活動や地元イベントへのボランティア参加など、地域づくりの面からも深く関わり積極的なパートナー関係の強化に努めています。

和歌山市が主催する「一万人大清掃」に行員約370名が参加しました。

和歌山市が主催する清掃活動「一万人大清掃」に当行各支店から集まった行員およそ370名が参加。市民の皆さまとともに、一体となって清掃活動に励みました。



毎年恒例の「片男波海水浴場清掃活動」に350名の行員が参加しました。

「小さな親切」運動の一環として今年で16回を迎えた「片男波海水浴場清掃活動」に、350名もの行員がボランティアとして参加。海開きを前にした砂浜で、朝早くからたくさんのゴミを拾いました。



「しばふプロジェクト+us!」に熊取支店が参加しました。

地元企業でお取引先さまでもある「株式会社 中商」さまが立ち上げた幼稚園・保育園の園庭を芝生にする「しばふプロジェクト+us!」を推進するために、同じくお取引先さまであった「アトム共同保育園」さまを紹介。園内に緑の絨毯が広がりました。



各支店活動紹介

地域や店舗周辺の美化活動やボランティア活動を行っています。



①高野口支店 ②由良支店 ③大阪支店 ④海南東支店 ⑤湊支店 ⑥白浜支店 ⑦狭山支店 ⑧串本支店 ⑨岩出支店 ⑩箕島支店 ⑪五条支店 ⑫古座支店 ⑬吉備支店 ⑭橋本支店 ⑮日置支店



株主さまとの約束

正確で適切な情報を提供する取り組み

IRカレンダー

5月	決算発表
6月	機関投資家向け決算説明会(東京) 定時株主総会 ミニ・ディスクロージャー誌発行 期末配当金支払い
7月	ディスクロージャー誌発行 地元株主向け決算説明会(和歌山、田辺、堺)
8月	第1四半期決算発表 個人投資家向け決算説明会(和歌山、堺)
11月	Annualreport発行 第2四半期決算発表
12月	ミニ・ディスクロージャー誌発行 機関投資家向け第2四半期決算説明会(東京)
1月	中間ディスクロージャー誌発行
2月	第3四半期決算発表

ディスクロージャー誌の配布と説明会の開催
株主・投資家の皆さまに正確な情報を開示し共有するための取り組みを行っています。

業績や経営状況、内部管理体制などの企業情報の公開には、とりわけクリーンな経営が求められる金融機関として、積極的に取り組んできました。法定ディスクロージャー誌の配布や定時株主総会の開催以外にも、地元株主向けと個人投資家向けの決算説明会を個別に行うなど、年7回の決算

説明会を実施。株主・投資家の皆さまに、定期的な情報公開を図ることは

銀行として当然の責務であると考えて

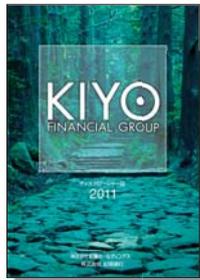
ています。同時に、貴重なコミュニケーション

の場としても活用し、私たちの事業へのご理解や

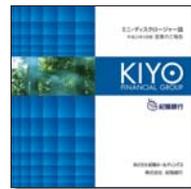
ご支援をいただくための活動として、今後も

積極的に取り組んでいきます。

2011
ディスクロージャー誌



2011
ディスクロージャー誌



2011
ミニ・ディスクロージャー誌



法令等遵守(コンプライアンス)態勢づくり

高い倫理観の保持とコンプライアンス重視を健全経営の最重要課題と位置づけています。

紀陽フィナンシャルグループでは、コンプライアンスを重視する企業風土を維持することが、企業価値を高め、ひいては株主さまの利益にもつながると考え、あらゆる法令やルールを遵守し、誠実な企業活動に取り組むことを最重要課題としています。

企業が健全経営をきちんと維持していくためには、株主・投資家の皆さまに、業績などのIR情報や配当などの情報を正確にいち早く開示することが、何より大切なことだと考えています。その上で、コンプライアンスに基づく態勢づくりをすることこそ、株主・投資家の皆さまとの約束なのです。

たとえばコンプライアンスプログラムを制定し、態勢の強化を日々図るとともに、コンプライアンス研修やコンプライアンスオフィサーによるモニタリングなど、各人の意識や知識を高める取り組みを行っています。

さらには弁護士や公認会計士など専門的知識を有する社外の第三者による「コンプライアンス委員会」を設置。客観的提言などを受け入れ、実効性および透明性を確保しています。また個人情報の取扱いについても、プライバシーポリシー(個人情報保護宣言)を定めており、個人情報の利用目的とともに公表しています。



コンプライアンスカード





従業員との約束

誰もが気持ちよく働くための取り組み

休日セミナー(例)

セミナー名	テーマ・目的
業種別セミナー	製造業 卸・小売業 製造業界に関する「目利き力向上」
～投資信託販売のための～ マーケット入門セミナー	マーケット感覚の醸成
税務基礎セミナー <相続税・贈与税編>	相続税・贈与税の基礎知識修得
経済セミナー ～グローバル化する世界 「環境変化と資産運用」～	貯蓄から投資への原点回帰
決算書入門セミナー	決算書に関する基本事項の理解
決算書分析実践セミナー	財務分析手法の修得
タイムマネジメントセミナー	時間管理、段取り力の強化
2級FP技能検定試験対策 科目別セミナー	同検定試験対策(科目別)
2級FP技能検定試験対策 科目別セミナー	同検定試験対策(直前対策)

キャリアアップのための社内研修制度
 休日セミナーをはじめとした
 キャリアアップの後押しも万全です。
 従業員のキャリアアップを積極的に支援す
 るための紀陽銀行では「休日セミナー」を開催。
 各業界に関する基本知識を養うものから投

資信託販売や税務、決算書分析など業務に直
 接関わるもの、ファイナンシャルプランナーの
 検定試験対策まで、幅広い分野におけるスキ
 ルアップをバックアップしています。

**従業員の経営参画意識を
 高めるための制度を導入**
 「信託型従業員持株インセンティブ
 Plan-ship」により、従業員
 の経営参画意識を高めています。

従業員一人ひとりがモチベーションを高く
 保持する環境をつくることは、企業にとって
 も大事なことです。そこで紀陽銀行では「信託
 型従業員持株インセンティブ・プラン e-
 ship」を導入。自社の株価が上昇すれ
 ばインセンティブが期待できるため、従来以
 上に「自分たちのがんばりで業績を高め株
 価を向上させよう」という意識を強く持つて
 もらうための制度です。

**社内環境充実のための制度
 休暇制度からハラスメントの
 対応まで、従業員が働きやすい
 制度が充実しています。**

産休制度や育児休暇制度など女性従業
 員に配慮した休暇制度はもちろん、男性の
 育児参加を促し、仕事と家庭の両面で支
 援するための「配偶者出産休暇制度」や、ワ
 ークライフバランスを考慮した「半日休暇制
 度」も導入しています。

また、セクシャルハラスメントやパワーハ
 ラスメントに関する相談窓口を設置。さら
 に、それでも相談しにくいケースも考慮し
 て、弁護士による外部窓口も設置するな
 ど、職場内におけるハラスメント行為の撲
 滅に取り組んでいます。





株式会社 紀陽ホールディングス

和歌山市本町1丁目35番地
<http://www.kyfg.com/>

株式会社 紀陽銀行

和歌山市本町1丁目35番地
<http://www.kiyobank.co.jp/>



このレポートには、地球環境に配慮した古紙含有率 70%の再生紙と、
大気汚染を抑制するノン VOC ベジタブルインクを使用しております。

※VOC…揮発性有機化合物 (Volatile Organic Compounds) の総称。
2006年4月1日より、大気汚染防止法でのVOCを含む有機化合物の
排出規制が始まっています。